

長野大学紀要

第42巻第2号（通巻第149号）

長野大学

2020年11月

長野大学紀要

第42巻第2号（通巻第149号）

長野大学

2020年11月

目 次

<論 文>

第二次安倍政権以降の地方政策 (1)

.....久保木 匡 介..... 1

農福連携における中間支援組織の記述的問い

—全国の代表的な取組から—

.....合 田 盛 人..... 15

森林環境税の導入をめぐる一考察

—「長野県森林づくり県民税」を事例に—

.....吉 村 武 洋..... 27

<研究ノート>

長野県塩田地域のため池の移行帯における食物網構造

.....高 橋 大 輔..... 43

<2019 年度長野大学研究助成金による研究報告>

(準備研究)

コンパッションとスティグマとの関連

—援助要請の促進という観点から—

.....佐 藤 修 哉..... 51

成人脳性まひ者に対するキャリア継続支援に向けた意思表示支援

—障害開示および障害開示を円滑に行うためのモニタリングに焦点を当てて—

.....丹野 傑史・伊藤 英一・相羽 大輔・能美由希子・奈良 里紗..... 53

長野県におけるコミュニティ・スクールおよび信州型コミュニティスクールにおいて関係者が当事者意識をもって連携・協働するための効果的な仕組みの解明	早坂 淳.....	55
伝統産業の観光資源化における地域間比較調査	古平 浩・井上 典子.....	57
現代中国語の「断り」戦略に関する予備的研究	宮本 大輔.....	59
地方自治体による森林環境税の制度設計と運用に関する研究	吉村 武洋.....	63
長野県の木工文化と「農民美術」：3D スキャンによる造形文化の研究	石川 義宗.....	65
日本企業の役割等級制度に関する準備研究	鈴木 誠.....	69
アニメ産業における制作者のキャリアとジェンダーに関する質的研究	松永 伸太郎・永田 大輔.....	71
古城の3DCG復元に関する研究—画像計測による質感の再現—	望月 宏祐.....	73
(地域・社会貢献研究)		
都市への他出家族が人口減少地域の維持存続に果たす役割の社会的解明 —長野県下伊那郡天龍村役場との連携研究 【最終年度】—	相川 陽一・丸山 真央・福島 万紀.....	75
東日本大震災後の海岸防災林再生事業における広葉樹の植栽および保育管理に関する技術開発	高橋 一秋.....	79
塩田平のため池群における水資源利用の変遷と新たな利用価値の創出	高橋 大輔・高橋 一秋・吉村 武洋・森本 英嗣.....	81
地域文化財情報のデジタルアーカイブ支援プラットフォームの開発	田中 法博.....	85

2019年度 長野大学研究助成金による研究一覧

区 分	研 究 者	テ ー マ
準備研究	1 佐藤 修哉	コンパッションとスティグマとの関連 －援助要請の促進という観点から－
	2 丹野 傑史	成人脳性まひ者に対するキャリア継続支援に向けた意思表示支援 －障害開示および障害開示を円滑に行うためのモニタリングに焦点を当てて－
	3 早坂 淳	長野県におけるコミュニティ・スクールおよび信州型コミュニティスクールにおいて関係者が当事者意識をもって連携・協働するための効果的な仕組みの解明
	4 古平 浩	伝統産業の観光資源化における地域間比較調査
	5 宮本 大輔	現代中国語の「断り」ストラテジーに関する予備的研究
	6 吉村 武洋	地方自治体による森林環境税の制度設計と運用に関する研究
	7 石川 義宗	長野県の木工文化と「農民美術」： 3Dスキャンによる造形文化の研究
	8 鈴木 誠	日本企業の役割等級制度に関する準備研究
	9 松永 伸太朗	アニメ産業における制作者のキャリアとジェンダーに関する質的研究
	10 望月 宏祐	古城の3DCG復元に関する研究 －画像計測による質感の再現－
地域・ 社会貢献研究	1 相川 陽一	都市への他出家族が人口減少地域の維持存続に果たす役割の社会的解明 －長野県下伊那郡天龍村役場との連携研究【最終年度】－
	2 高橋 一秋	東日本大震災後の海岸防災林再生事業における広葉樹の植栽および保育管理に関する技術開発
	3 高橋 大輔	塩田平のため池群における水資源利用の変遷と新たな利用価値の創出
	4 田中 法博	地域文化財情報のデジタルアーカイブ支援プラットフォームの開発

長野大学紀要編集規程

(名称および発行)

第1条 本誌を「長野大学紀要」(以下「本紀要」という。)と称し、年4回発行することを原則とする。

(目的)

第2条 長野大学において教員が行っている研究および本学で実施された共同研究や受託研究の成果を学内外に紹介し、長野大学の教育・研究活動の活性化に寄与することを目的とする。

(編集委員会)

第3条 長野大学図書館運営委員会のもとに、長野大学紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)を置く。編集委員会委員長は図書館運営委員会委員長が兼ねる。

2 本紀要の原稿の募集・編集は編集委員会が行う。

(投稿資格)

第4条 投稿できる者は原則として本学の専任教員、客員教員、名誉教授とする。ただし、本学の非常勤講師等も投稿することができる。

2 本学の教員と共同研究を行う者。

3 本学学生・研究生等は、投稿資格を有する教員等が共著者である場合は投稿を認める。

4 その他編集委員会が認めたもの。

(投稿原稿)

第5条 本紀要に掲載する原稿は他に未発表のものに限り、種類は次の各号に掲げるものとする。

(1) 論文

(2) 研究ノート

(3) 書評

(4) その他の編集委員会の認めたもの

(研究倫理の遵守)

第6条 本紀要に投稿する原稿は、長野大学研究倫理規程に則ったものであること。

(点検)

第7条 本紀要に掲載される論文等の水準を維持するために、編集委員会が点検を行う。場合によっては編集委員以外の者の意見を聞くことがある。

2 編集委員会は点検の結果に基づき、原稿の内容について執筆者に修正を求めることがある。

3 点検についての詳細は別に定める。

(掲載の可否)

第8条 編集委員会は点検結果に基づき、投稿原稿の掲載の可否を決定する。

(著作権)

第9条 本紀要に掲載された論文等の著作権の取り扱いは、以下のとおりとする。

(1) 著作権は著者に帰属する。

(2) 著者は著作物の複製権と公衆送信権の行使を大学に委託する。

(3) 本紀要に記載された論文の全部あるいは大部分を他の著作物に利用する場合には、その旨を編集委員会に申し出るとともに、出典を明記すること。また、一部を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記すること。

(論文等のネットワーク上での公開)

第10条 本紀要に掲載された論文等は、原則として電子化し、長野大学ホームページ等を通じてネットワーク上に公開する。

2 公開を希望しない場合は、寄稿申込時に所定の手続きにより、公開を拒否することができる。

(配布)

第11条 発行された紀要は専任教員、客員教員、名誉教授および非常勤講師等へ配布する。

(抜刷)

第12条 執筆者には抜刷50部を配布する。ただし、50部をこえる分については執筆者がその費用を負担するものとする。

(執筆要領)

第13条 原稿は別に定める執筆要領にしたがうこととする。

(改廃)

第14条 この規程の改廃は、全学教授会の意見を聴き、学長が行う。

附則

本規程は平成29年4月1日から施行する。

編集委員会

委員長 高橋 大輔

委員 石川 義宗, 黒木 保博, 佐藤 修哉,

望月 宏祐

2020年11月30日 発行

長野大学紀要 第42巻第2号(通巻第149号)

編集 長野大学紀要編集委員会

発行所 長野大学

長野県上田市下之郷 658-1

TEL (0268)39-0005

印刷 田口印刷株式会社

上田市殿城 425-1

TEL (0268)22-0680

BULLETIN OF NAGANO UNIVERSITY

Vol.42, No.2, November 2020

CONTENTS

Articles

- Local Policy after Second Abe administration (1)
Kyosuke KUBOKI..... 1
- A Study of the Descriptive Question of Intermediate Support Organizations in Collaboration between
Agriculture and Social Welfare
Analysis of Representative Efforts Nationwide
Morihito GOUDA.....15
- An Analysis of Forest Environmental Tax's Introduction in Terms of Cost Sharing
A Case Study of Nagano Prefecture
Takehiro YOSHIMURA.....27

Research Notes

- Food web structure on ecotone at a reservoir pond in Shioda District, Nagano Prefecture
Daisuke TAKAHASHI..... 43